

1. 本校の沿革・概要

昭和51年	4月	名護養護学校 開校式・第1回入学式
昭和52年	3月	小学部第1回卒業式
昭和54年	3月	中学部第1回卒業式
	4月	高等部開設（1年4学級30名定員）
昭和55年	4月	幼稚部開校（2学級10名定員）
昭和56年	3月	幼稚部第1回修了式
昭和57年	3月	高等部第1回卒業式（卒業生26名）
平成17年	3月	校舎全面改築落成記念式典・祝賀会
平成21年	4月	名護特別支援学校へ校名変更
平成22年	4月	知肢併設へ変更
平成28年	4月	5障害種対応（視覚、聴覚、知的、肢体不自由、病弱）へ変更
平成31年	4月	産業コース開設（高等部）
令和4年	4月	3障害種対応（視覚、聴覚、知的）へ変更

2. 本校の教育目標

各学部段階の教育内容の履修を基本に、一人一人の生活年齢を重視する教育及び障害の状態や特性等に応じた教育を通して、主体的・自主的に判断・選択する力、心身の調和的な発達、家庭生活及び社会生活に適應できる能力と態度、可能な限り積極的に自立し、社会参加・貢献する人間を育成する。

＜目指す人間像＞

- ① 健康で明るく、元気な人（健康）
（健康で安全な生活を送るために必要な習慣や態度を育てる。）
- ② 自分のことは自分でする人（自立）
（社会生活に必要な学習・生活上の基礎的な事項の確立を図る。）
- ③ 思いやりがあり仲良くする人（協力）
（情緒の安定を図り情操豊かな心を育てる。）
- ④ ねばり強く、喜んで働く人（勤労）
（働く意欲とねばり強く最後までやりぬく態度を育てる。）
- ⑤ 自分で考えて行動する人（自律）
（集団活動を通して社会生活への適応力を育てる。）

3. 各学部の教育活動

＜幼稚部の教育目標＞

- ① 明るく元気な子
（健康な体と安全に生活する態度を育てる。）
（情緒の安定を図り、豊かな心を育てる。）
- ② 自分でできることは自分でする子
（身のまわりのことを自分でしようとする態度を育てる。）
- ③ 一人でもみんなとも遊べる子
（一人でも友達とも遊べる力を育てる。）



水遊び



小麦粉遊び

＜小学部の教育目標＞

- ① 健康で明るく元気な子
（健康な体と豊かな心を育てる。）
- ② 自分のことは自分でできる子
（身のまわりのことは自分でできる力を養う。）
- ③ 友達と仲良くできる子
（情操豊かな心を育み、集団生活に参加する態度を育てる。）
- ④ 規則正しい生活ができる子
（基本的な生活習慣の形成を図る。）
- ⑤ 最後まで頑張る子
（自分の役割を知り、最後まで頑張る態度を育てる。）



校外学習（交通機関の利用）



国語の授業

＜中学部の教育目標＞

- ① 健康で明るく元気な生徒
（健康な体と豊かな心を養う。）
- ② 自分のことは自分でできる生徒
（身辺処理の確立と情緒の安定を図り、情操豊かな心を育てる。）
- ③ 友達と仲良くできる生徒
（集団生活への適應を図り、望ましい人間関係を育成する。）
- ④ ねばり強く、喜んで働く生徒
（社会生活に必要な基本的な生活習慣を身につけ、進んで働く意欲と最後までやり通す態度を養う。）
- ⑤ 規則正しい生活ができる生徒
（日常生活に必要な基本的な生活習慣の形成および定着を図る。）



社会見学（沖縄アリーナ）



校内実習（家庭班）

＜高等部の教育目標＞

- ① 健康で明るく素直で、体調管理ができる生徒
（職業生活に必要な体力をつけ、健康と衛生を自己管理する習慣や健全な態度を育てる。）
- ② 自分のことは自分で責任をもってできる生徒
（職業生活・社会生活に必要な基礎的知識と技能、及び生活習慣の形成を図る。）
- ③ 自分の立場や相手の気持ちを考えながら、仲間と協力し、役割を果たそうとする生徒
（望ましい人間関係の確立を図り、適切な関わり方と協調性、情操豊かな心を養う。）
- ④ 勤労意欲を持ち、将来の夢に向かって頑張る生徒
（職業生活に必要な能力と態度を養い、勤労意欲を高める。）
- ⑤ 自分で考え、責任を持って行動し、社会参加を目指す生徒
（集団活動に積極的に参加し、社会に適應する能力を育てる。）



1日総合学習（名護市立図書館）



特別支援学校体育大会



学習発表会販売



校外実習



職業の授業



デュアルシステム（企業連携型学習）*

*デュアルシステム（企業連携型学習）・・・授業の一環で行う企業での実践的な職業学習

＜寄宿舎の指導目標＞

本校の教育目標に基づき、集団生活を通して特に下記の目標が達成できるように努める。

- 1 健康で明るく、元気な人
- 2 自分のことは自分でする人
- 3 思いやりがあり仲良くする人
- 4 粘り強く、喜んで働く人
- 5 自分で考えて行動する人



入舎式



余暇活動（カラオケ）



余暇活動（買い物学習）

4. 主な学校行事

＜1学期＞

春の遠足
交流学習
交通安全指導
前期実習（高等部）

＜2学期＞

校内陸上競技大会
体育学習成果発表会（各学部）
特別支援学校体育大会
修学旅行
宿泊学習
産業教育フェア
後期実習（高等部）
校内実習（中学部）

＜3学期＞

校内持久走大会
特別支援学校駅伝大会
生産物まつり
学習発表会（隔年）

＜通年＞

総合避難訓練
居住地校交流（小学部・中学部）
校外学習
社会見学

他にもあるよ！

5. スクールバス

本校では2台のスクールバスを運行しています。金武コース・本部コースの各バスには運転手の他に介助職員が乗車しており、安全に運行できるように車内の安全管理を行っています。

金武コース：学校→浜田→中央公民館前→松田→許田→世富慶→学校

本部コース：学校→本部町役場前→謝花→→仲宗根→→第二湧川→仲尾次
入口→振慶名入口→→学校

※令和５年度は、上記のコースに加え名護コース（登校のみ）も臨時に運行しています。

※尚、社会参加・自立を促すため、できるだけ自力通学を進めており、中学部・高等部では、可能な限り、自力通学の指導を行っています。

6. 入学案内

小学部、中学部への入学は、沖縄県教育委員会からの通知に基づいて入学することになります。

幼稚園部、高等部への入学は、入学選考を行います。幼稚園部、高等部へ入学を希望される方は、本校へお問い合わせください。願書提出の前に志願前相談が必要になります。尚、令和5年度の幼稚園部の志願前相談は9月末日まで、願書受付は11月9日(木)・10日(金)、入学選抜検査は11月21日(火)・23日(水)となっています。高等部の志願前相談は9月28日(木)・10月4日(水)・5日(木)・10日(火)・11日(水)・12日(木)、入学願書受付は、令和6年2月7日(水)・8日(木)、入学選抜検査は令和6年3月6日(水)・7日(木)となっています。

7. 幼児児童生徒数

令和5年4月1日現在

	學級數			幼兒兒童生徒數					
	一般	重複	訪問	一般	重複	訪問	男	女	計
幼稚部	1			3			3	0	3
小学部	11	3		47	9		43	13	56
中学部	6	2	1	26	5	2	26	7	33
高等部	10	4	1	57	12	1	47	23	70
合計	28	9	2	133	26	3	119	43	162

8. 高等部卒業生の進路状況

各年度卒業時

	一般 就労	福祉 事業所	施設・ 病院	在宅・ デｲｼﾞﾀﾙ	その他	合計
平成 24 年度	1	17	0	0	0	18
平成 25 年度	4	17	3	0	0	24
平成 26 年度	5	15	2	5	0	27
平成 27 年度	7	16	0	3	1	27
平成 28 年度	5	10	2	2	0	19
平成 29 年度	6	9	1	2	0	18
平成 30 年度	3	14	0	1	0	18
令和元年度	2	13	2	8	1	26
令和 2 年度	7	13	0	5	0	25
令和 3 年度	4	13	0	1	0	18
令和 4 年度	5	18	1	0	1	25

9. 教育相談のご案内

特別支援教育のセンター的機能の一環として、教育的支援を必要とするお子さんやその保護者、各学校等の関係者を対象に、特別支援教育に関する教育相談、情報提供などを行っています。お気軽にご相談下さい。

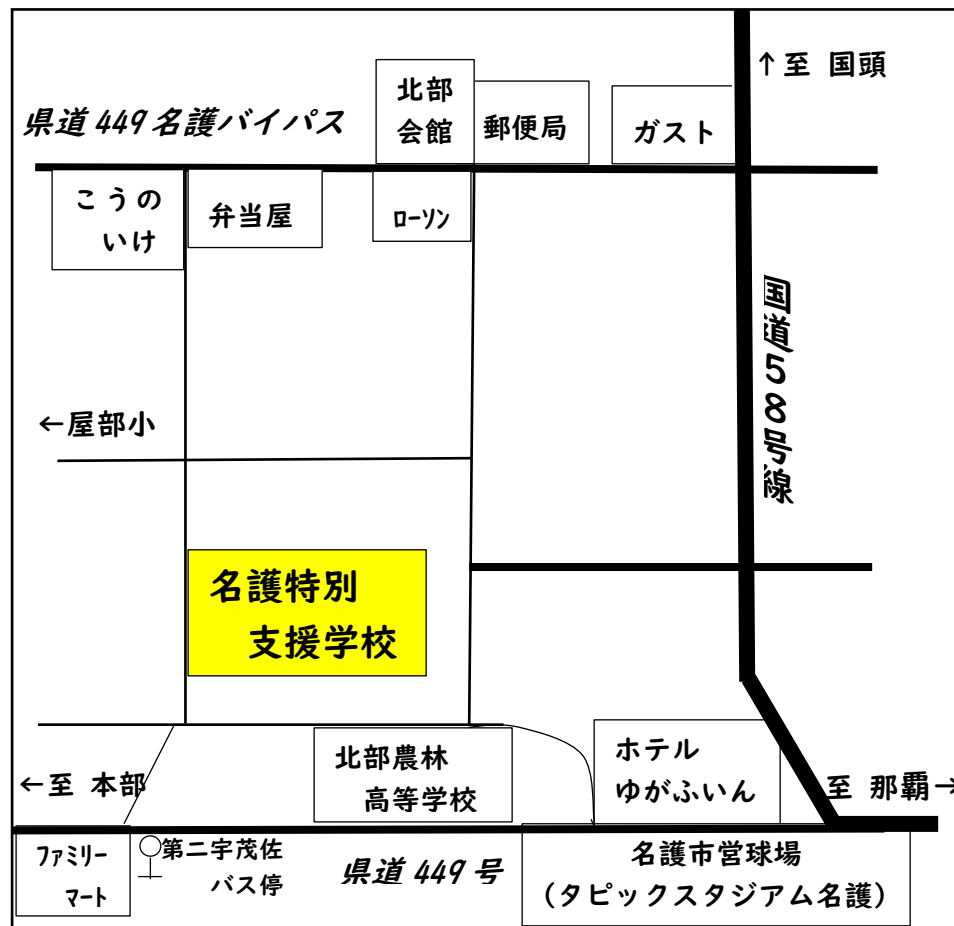
相談内容

- ☆学校見学や体験入学に関すること
- ☆生活習慣や学習面に関すること
- ☆対人関係やコミュニケーションに関すること
- ☆子どもとの関わりに関すること
- ☆福祉、医療等の情報提供に関すること
- ☆その他、お子さんについて気になること

相談方法

- ★電話相談
- ★来校相談（本校にお越しいただき、相談に応じます）要予約
- ★訪問相談（本校職員が園や小・中学校等に出向きます）要予約
- ・事前に電話予約をお願いします。（受付時間 10：00～16：30）
 - ・相談に関する内容等については、秘密を厳守致します。
 - ・本校教育相談は、本校への就学を勧めるものではありません。
 - ・教育的支援を必要としている子どもたちや関係者の方たちの支援を目的としています。

学校案内図



・名護バスターミナル下車、徒歩 15 分 ・第二宇茂佐バス停下車、徒歩 3 分

令和5年度

学校案内



なかよく
げんきに
ほがらかに



沖縄県立名護特別支援学校

〒905-0006

沖縄県名護市字宇茂佐 760 番地

TEL : 0980-52-0505

FAX : 0980-54-1486